

尚志、完封発進

全国高校 サッカー あす2回戦

第94回全国高校サッカー選手権第2日は31日、東京の駒沢陸上競技場などで1回戦15試合が行われ、本県代表で2年連続7度目の出場の尚志は、4年連続5度目の出場の京都橘（京都）を1―0で退け、2回戦に駒を進めた。

初戦突破は第93回大会に続き2年連続。2日に同競技場で行われる2回戦で5年ぶり2度目の出場の駒大高（東京B）と対戦する。午後0時5分開始予定。



【尚志—京都橘】前半13分、尚志のMF佐藤のCKを頭で合わせて決勝点を挙げたDF茂木④＝東京・駒沢陸上競技場

「勝って元気届けたい」



試合後、スタンドの仲間の声援に応える茂木選手

尚志が初戦突破

「福島や（出身地の）茨城から応援に駆け付けた人に最高の試合を見せることができて良かった」。31日の全国高校サッカー選手権で、京都橘（京都）を1-0で破る決勝ゴールを決めた尚志のDF茂木星也主将（3年）は、初戦突破を果たし笑顔を見せた。

中学時代は名門の鹿島アントラーズジュニアユースで活躍した。仲村浩二監督から誘われサッカー部を見

学した際、練習試合に加わるレベルの高さを実感。親元を離れて入学することを決めた。

茨城も東日本大震災の被害を受けただけに、「震災のつらさ、大変さは分かっている。勝つことで、福島の人にも少しでも元気を届けたい」と、本県への思いを語る。

学校がある郡山市では、父充史さん（46）も大学4年間を過ごした。充史さんは「福島を選んだのは星也。

茂木主将、痛みこらえゴール

「福島や（出身地の）茨城から応援に駆け付けた人に最高の試合を見せることができて良かった」。31日の全国高校サッカー選手権で、京都橘（京都）を1-0で破る決勝ゴールを決めた尚志のDF茂木星也主将（3年）は、初戦突破を果たし笑顔を見せた。

【一面に本記】

尚志高の初戦突破を信じ、大応援団がスタンドから熱い声援を送った。サッカー部員と応援団員の掛け声に合わせてOBや選手の保護者、教職員が試合終了を告げるホイッスル

が鳴るまで選手を鼓舞し続けた。サッカー部保護者会の武田正久会長（53）は「いつも通りのプレーができる」と話した。



スタンドから選手に熱い声援を送る尚志高の保護者や学校関係者

今は、第一の故郷と思つてゐるはず」と話す。今季はけがと戦う日々を送ってきた。夏の練習試合で左ひざを骨折、現在もボルトが入ったままだ。骨折は2ヶ月後にはほぼ完治したが、10月には右足首を痛め、思うように練習できない日

痛み止めを使いながら臨んだ全国大会初戦。久しぶりのフル出場で、決勝点を挙げた。「仲間には迷惑を掛けた。勝つためなら足が壊れてもいい」。悲願の全国制覇に向か、主将としての責任感をにじませた。

々が続いた。



序盤にミキシングヘッド

積み重ねてきた練習と経験が全国の舞台で結果となって表れた。攻守でチームのかじ取り役となり、試合をつくった尚志のMF佐藤凌輔(3年)は「練習の成果が出てた。守備がはまつた」と、U-18(18歳以下)日本代表の相手FW、岩崎悠人(2年)を封じた一戦に手応えをつかんだ。

試合開始直前まで、12月11日に行われた高円宮杯U-18サッカーリーグ参入戦が頭を離れなかつた。プレミアに次ぐプリンスリーグ東北を制し、昇格を懸けて臨んだ新潟明訓戦だったが、守備の弱点をつかれ、前半20分までに3失点。試合も2-3で敗れ、「攻撃から守備への切り替えの大しさを感じた」と振り返る。

本大会直前の27日まで行った静岡県での合宿では速攻への対処など守備への切り替えを強化した。佐藤を中心に統率された守備陣は、中盤で素早いディフェンスを仕掛け、高い攻撃力を誇る相手をはねのけた。仲村浩二監督も「中盤で佐藤らが粘り強く守備し、自由に攻撃させなかった」とたたえる。不動の司令塔は「初戦突破では満足していない」。この日の1勝で得た自信を胸に「全国制覇」への階段を駆け上がる。(佐藤智)



【尚志-京都橘】攻守にわたる活躍で、チームを勝利に導いた尚志のMF佐藤=東京・駒沢陸上競技場

◎尚志のDF井出隼人(3年)は京都橘のロングボールに181cmの長身で対抗、身をいして相手のシュートを防ぐなど無失点の守備に貢献した。「実力は京都橘が上。攻

守の切り替えが大事」と相手チームの個人技の高さを認め、1対1の場面をつくりながら、常に人数で上回るよう意識。センターバックとして守備陣の連係を取り攻め、足をつり後半12分に途中交代した井出は「次戦は最後までピッチに立ち、体を張って守りきる」と誓っていた。

果敢な飛び出し石塚

◎…果敢な飛び出しと安定したキャッチングを見せた尚志のGK石塚亮(3年)は「セットプレーを警戒した。声を掛け合い守ることができた」と胸を張った。試合終盤、疲れから足が止まり、速攻を仕掛けられシュートを狙われる場面もあったが、「仲間が必死にプレーしているのは分かっていた。予測はできていた」と冷静に対処し、ゴールを守り抜いた。「次戦も無失点が目標。抑えて勝つ」と守護神は気持ちを切り替えた。

京都橘のクロスをヘディングで頭で合わせる。尚志のD

守備陣の連係を取り攻め、足をつり後半12分に途中交代した井出は「次戦は最後までピッチに立ち、体を張って守りきる」と誓っていた。

京都橘・米沢一成監督の話「守備の連係など敗戦で得た教訓が生きた結果となつた。中盤もしっかり体を寄せ、相手の良さを消すことができた。選手は楽しんでくプレーをしたい」と力強かつた。

尚志・仲村浩二監督の話「ここで一つ勝つていると次につながるが、勝ち方を覚えて帰るので身にはならない。試合の流れを読む目や、落ち着きが足りない落着きが足りなかつた。

柳原「次戦ゴール量産」

◎…「もっと得意とする縦への突破が影を潜めシュート0本。ハーフタイムでプレーを見つめ直し気持ちを切り替えた。後半の中盤、オフサイドとなつたが、DF茂原巧朗(3年)の左からのクロスを頭で浮かせてゴルネットを揺らした。入っていれば良かった。試合を楽に運べていたはず」と悔しさを感じた。

「頭で合わせるのが得意。ゴールを量産したい」と柳原。次戦に向かって「FWとして、チームを勝利に導くプレーをしたい」と力強かつた。



【尚志-京都橘】後半17分、尚志のDF茂原のクロスに合わせヘディングシュートを放つFW柳原

△1回戦	尚志 1 (0-1-0-0) 0 京都橘
△得点者【尚】茂木	

全国高校サッカー

31日に行われた第94回全国高校サッカー選手権。第2日は、第91回大会準優勝の強豪・京都橘(京都)を1-0で下した本県代表の尚志など15校が2回戦進出を決めた。【一面に本記】夏の全国高校総体で2連覇した東福岡は遠野(岩手)に3-

0で完勝。青森山田は大社(島根)に3-2で逆転勝ちした。初出場の明秀学園日立(茨城)は四日市中央工(三重)に2-1で競り勝ち、聖和学園(宮城)は野洲(滋賀)に7-1で大勝した。藤枝東(静岡)、広島皆実などは敗退した。2回戦は2日に実施される。

【評】中盤からの素早い守備で相手攻撃陣を封じた尚志が接戦をものにした。

尚志は前半13分、MF佐藤のCKをDF茂木が頭で合わせて先制。FW小野の相手守備の裏をついた飛び出しやFW国本の体の強さを生かした攻撃を展開した。後半に入ると、DF茂原の積極的な攻撃参加などで好機を演出、相手ゴールに迫る場面をつくった。

守備では、京都橘のストライカーをMF佐藤らが粘り強くマーク。全国に向けて強化してきた守備の強さが光った。(中田亮)

その他の試合結果

新潟明訓 2-0 那須(西)

国学院久我山 1-0 広島皆実

(東京) 1-0 (沖縄)

聖和学園 7-1 野洲

(宮城) 4-0 初芝橋本

山口鴻城 0-0 大山形

(愛知) 4-0 和歌山

帝京(山梨) 3-0 高松南

明秀学園日立 2-1 四日市中央工(三重)

札幌大谷 1-1 鹿児島城西

帝京(山梨) 3-0 高松南

中京大(中京) 4-0 (和歌山) 本

矢板中央 2-1 大

青森山田 3-2 大島根(社)

鳴徳島門 1-0 秋田商

聖和学園 7-1 野洲

(宮城) 4-0 初芝橋本

山口鴻城 0-0 大山形

(愛知) 4-0 和歌山

帝京(山梨) 3-0 高松南

明秀学園日立 2-1 四日市中央工(三重)

札幌大谷 1-1 鹿児島城西

帝京(山梨) 3-0 高松南

中京大(中京) 4-0 (和歌山) 本

矢板中央 2-1 大

青森山田 3-2 大島根(社)

鳴徳島門 1-0 秋田商

聖和学園 7-1 野洲

(宮城) 4-0 初芝橋本

山口鴻城 0-0 大山形

(愛知) 4-0 和歌山

帝京(山梨) 3-0 高松南

明秀学園日立 2-1 四日市中央工(三重)

札幌大谷 1-1 鹿児島城西

帝京(山梨) 3-0 高松南

中京大(中京) 4-0 (和歌山) 本

矢板中央 2-1 大

青森山田 3-2 大島根(社)

鳴徳島門 1-0 秋田商

聖和学園 7-1 野洲

(宮城) 4-0 初芝橋本

山口鴻城 0-0 大山形

(愛知) 4-0 和歌山

帝京(山梨) 3-0 高松南

明秀学園日立 2-1 四日市中央工(三重)

札幌大谷 1-1 鹿児島城西

帝京(山梨) 3-0 高松南

中京大(中京) 4-0 (和歌山) 本

矢板中央 2-1 大

青森山田 3-2 大島根(社)

鳴徳島門 1-0 秋田商

聖和学園 7-1 野洲

(宮城) 4-0 初芝橋本

山口鴻城 0-0 大山形

(愛知) 4-0 和歌山

帝京(山梨) 3-0 高松南

明秀学園日立 2-1 四日市中央工(三重)

札幌大谷 1-1 鹿児島城西

帝京(山梨) 3-0 高松南

中京大(中京) 4-0 (和歌山) 本

矢板中央 2-1 大

青森山田 3-2 大島根(社)

鳴徳島門 1-0 秋田商

聖和学園 7-1 野洲

(宮城) 4-0 初芝橋本

山口鴻城 0-0 大山形

(愛知) 4-0 和歌山

帝京(山梨) 3-0 高松南

明秀学園日立 2-1 四日市中央工(三重)

札幌大谷 1-1 鹿児島城西

帝京(山梨) 3-0 高松南

中京大(中京) 4-0 (和歌山) 本

矢板中央 2-1 大

青森山田 3-2 大島根(社)

鳴徳島門 1-0 秋田商

聖和学園 7-1 野洲

(宮城) 4-0 初芝橋本

山口鴻城 0-0 大山形

(愛知) 4-0 和歌山

帝京(山梨) 3-0 高松南

明秀学園日立 2-1 四日市中央工(三重)

札幌大谷 1-1 鹿児島城西

帝京(山梨) 3-0 高松南

中京大(中京) 4-0 (和歌山) 本

矢板中央 2-1 大

青森山田 3-2 大島根(社)

鳴徳島門 1-0 秋田商

聖和学園 7-1 野洲

(宮城) 4-0 初芝橋本

山口鴻城 0-0 大山形

(愛知) 4-0 和歌山

帝京(山梨) 3-0 高松南

明秀学園日立 2-1 四日市中央工(三重)

札幌大谷 1-1 鹿児島城西

帝京(山梨) 3-0 高松南

中京大(中京) 4-0 (和歌山) 本

矢板中央 2-1 大

青森山田 3-2 大島根(社)

鳴徳島門 1-0 秋田商

聖和学園 7-1 野洲

(宮城) 4-0 初芝橋本

山口鴻城 0-0 大山形